

キャラクター名
本能寺忠明

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	坊主系高校生
	サラマンダー				
オプション		年齢	18	性別	男
覚醒	探求	衝動	妄想	初期侵食率	28 %
出自	捨て子	経験	修行中に覚醒	邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	4	0	0			4	行動値	4
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	2	0	0			2	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	7		射撃	2		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ゾディアックウェポン	白兵	4r+4	3	11		ダメージロールに+1D 侵蝕+2
	白兵	9r+4		7		
	白兵	9r+4		27		
80	白兵	8r+4		27+3D10		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
バディムーブ					自分以外の達成値+3 1ラウンド1回

所持品	
情報収集チーム(仏)	
ウェポンケース(仏)	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
永遠の炎	P	N		
法華宗	P 傾倒	N 隔意		
こうや	P 友情	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
エターナルブレイズ	5	4	セットアップ	至近	自身	自動	Dロイス	
効果: ATK+[LV*4] 【行動値】-5								
フレイムタン	1	2	Xジャー	視界	単体	白兵		
効果: ATK-[5-LV]								
結合粉碎	5	4	Xジャー	-	-	シンドローム	ピリア	
効果: ダイス+LV 装甲無視								
コンセントレイト: サラマンダー	2	2	Xジャー	-	-	シンドローム		
効果: C値-1(↓7)								
エネルギーブレイド	2	4	Xジャー	-	-	シンドローム	80	
効果: ATK+2D ダイス-1								
マクスウェルの悪魔	5	5	オート	至近	自身	自動	120 妄想	
効果: HPダメージ+[LV+1]D or -[LV+1]D								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

Z市では珍しい穏やかな顔をした精神な好青年。
しかし彼の心中は穏やかではない。
その淡いバリトンボイスの裏には途轍もないド変態が隠れている。
Z市では毎週金曜日になると本能Z寺から除夜の鐘の音が聞こえる。
これは一週間の登校で妄想してしまった煩惱の数だけ忠明が鐘をついているためである。
その数は大体108前後に収束するが、2桁で収まった週は事情を知る市民のどよめきが聞こえるという。

女性に対峙すると態度や表情は変わらないが滝のような汗をかく。
また女性と喋っているときは言葉の間にかかなりのクールタイムが生まれる。
本人曰く煩惱を殺す為にフィボナッチ数列の事を考えているという。
しかしそれでもなお週に108は煩惱に支配される。

オーヴァードに覚醒したのは5年前の朝の瞑想中。
当時中一の忠明は昨晚見たクラスメイトの女子の淫靡な夢で悶々としていた。
しかし今は瞑想中。彼の為だけに雇われている剣道家は今日も彼の肩にノンストップで棒を振り下ろしている。
そしてまた忠明も必死に煩惱に抗おうと脳を酷使していた。
その結果彼の体は紅蓮の炎を纏い、寺の本堂を半焼させ、御神体を焼失させた。

UGNの検査によるとレネゲイドの性質は明らかにノイマンの物だが、発現しているのはサラマンダーという特殊体質らしい。
精密検査のために一度アールラボに送られたが、"ラフレシア"から「あんたおっかしいよ」と真顔で言われたらしい。
因みにその週は鐘が239回鳴り、流石に苦情の電話が大量にきたそう。